

令和8年度 病虫害発生予察情報

注意報 第1号

令和8年7月13日
発表：福島県病虫害防除所

県内全域で斑点米カメムシ類が発生しています。
除草作業や薬剤防除を適期に行いましょう。

- 1 対象作物：水稻
- 2 病虫害：斑点米カメムシ類
(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、
ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ等)
- 3 対象地域：県内全域
- 4 発生時期：やや早い
- 5 発生量：やや多い
- 6 予報の根拠
 - (1) 水田畦畔雑草のすくい取り調査の結果、7月上旬における斑点米カメムシ類成虫（以下、カメムシという。）の平均すくい取り虫数は平年並でしたが、すべての調査ほ場（33地点）でカメムシの発生が確認されました（図1）。
 - (2) 主な発生種は、アカスジカスミカメ（写真1）、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシでした。また、クモヘリカメムシ（写真2）が一部地点で捕獲されました（図2）。
 - (3) 7月9日に仙台管区气象台が発表した1か月予報によると、気温は平年より高いと予想されています。
- 7 防除対策
 - (1) 出穂期前
 - ア 畦畔や周辺の除草を徹底しましょう。イネ科雑草は、カメムシの発生源となります。
 - イ 畦畔の除草は出穂10日前までに終わらせてください。水稻の出穂期以降の畦畔除草は、カメムシを水田に追い込むことになります（図3）。
 - ウ 水田内のイネ科雑草やイヌホタルイ等のカヤツリグサ科の除草も徹底してください。これらの雑草の穂は、アカスジカスミカメの産卵場所となります。
 - (2) 出穂期以降
 - ア 薬剤散布による防除を行います。カスミカメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ等）とクモヘリカメムシは防除時期が異なります。防除時期は、カスミカメムシ類は乳熟期とその7日後頃、クモヘリカメムシは出穂期～穂揃期とその10日後頃（図3）を基本とします。令和8年7月10日発表の[水稻病虫害防除対策（斑点米カメムシ類）](#)を参考に防除を実施してください。

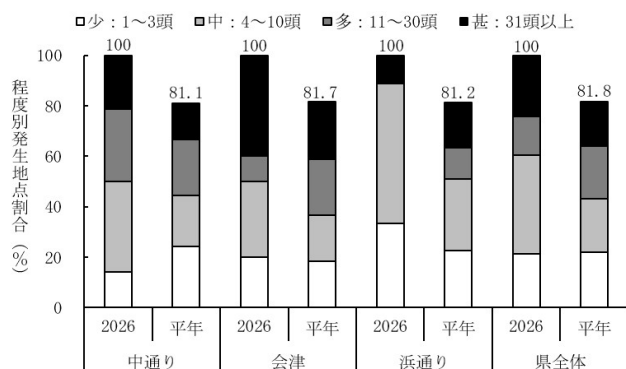


図1 斑点米カメムシ類の発生地点割合
(7月上旬 県全体・水田畦畔20回振り)
注) 調査地点: 県内33地点

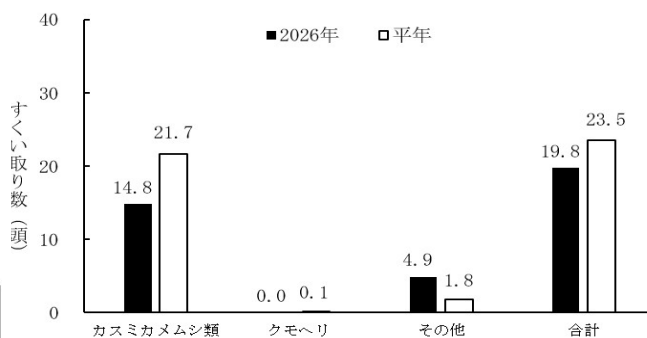


図2 主要加害種別平均すくい取り虫数
(7月上旬 県全体・水田畦畔20回振り)

注1) 調査地点: 県内33地点

注2) カスミカメムシ類: アカシジカスミカメ・アカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリ: クモヘリカメムシ、その他: ホソリカメムシ、オトゲシホソカメムシなどの総数



写真1 カスミカメムシ類
(アカシジカスミカメ)



写真2 クモヘリカメムシ
(福島県農業総合センター撮影)

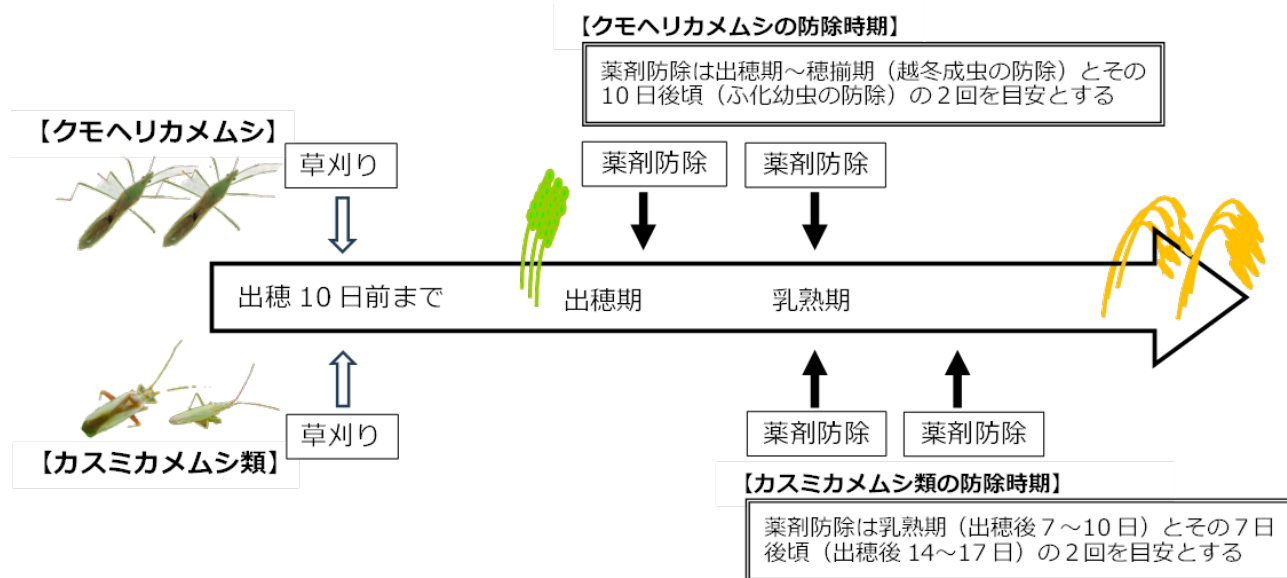


図3 斑点米カメムシ類の草刈り及び防除時期のイメージ

- ◆ 福島県では6月10日から9月10日まで令和8年度農薬危害防止運動を実施しています。
- ◆ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読んで正しく使用しましょう。
- ◆ 無人航空機で農薬を散布する場合、散布前に蜜蜂飼育情報の確認、散布計画の周知を行いましょう。

● 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727